

授業科目(ナンバリング)	異文化適応演習 A(AD101)			担当教員	※井上 麗奈		
展開方法	講義	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
日本での日常生活や大学生活、アルバイトなどにおいて、日本語だけではなく、日本の文化、歴史、生活様式など様々なことを学び、フィールドワークを通して、日本という国の全体に興味を持ち、留学生生活が充実し、日本での生活が円滑に行うことを目標とする。							①②③④⑤⑦ ⑧⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	日本での留学生生活を円滑に過ごすことができる。				定期試験	10%	
情報収集、分析力	日本と母国の文化や習慣、歴史などを様々な手段を通して情報を収集し、理解、説明できる。				課題レポート	10%	
コミュニケーション力	正しい日本語で自分の意思を表現できる。				授業態度・授業への参加度	20%	
協働・課題解決力	グループワーク、フィールドワークを通して、日常生活の中での疑問や問題を討論し、説明できる。				課題レポート	10%	
多様性理解力	日本の文化や習慣を学習し、母国との違いを理解できる。				定期試験	50%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業への出席や授業態度及び授業中の発言を評価の一部とする。また、不定期に小テストや課題、定期試験を通して、総合的に評価する。課題レポート、課題発表については、授業内で指示する。課題レポートは、提出後、添削し、翌週に返却する。再提出が必要な場合、提出日を指定し、同じく添削後に返却する。							
授業の概要							
この授業は、教科書を使うほか、適時にプリントを配布、絵カードや映像などを用いて授業を行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教科書・参考書							
教科書：トキオ・ナレッジ『日本人のしきたりいろは図鑑』宝島社 参考書：菅原正子『くらし・儀式・行事 日本人の生活文化』吉川弘文館 指定図書：桂島宣弘（2005年）『留学生のための日本事情入門』文理閣							
授業外における学修及び学生に期待すること							
日本での日常生活の中で、様々な疑問や質問があると思います。まず、日本語の授業、テレビや新聞などを通して、日本語をしっかり身につけ、母国以外の方と関わる際（アルバイト先など）よく周囲を観察することで、今まで思っていた疑問や質問への解答が見つかると思います。また、様々なところへ出かけ、日本の文化、生活様式を体験してください。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 大学生活への適応 (1)	授業の流れ、授業を履修する際の注意事項。 学生生活にスムーズに適応できるように、履修登録などについて	学生便覧・シラバスを読む。
2	大学生活への適応 (2)	学生生活にスムーズに適応できるように、長崎国際大学の学則などについて	学生便覧・シラバスを読む。
3	大学生活への適応 (3)	「マナバフォリオ」の使い方等について	『マナバコース学生用マニュアル』を読む。
4	日本語の表現①	日本語の主語、助詞などを学ぶ。	事前に配布したプリントを完成させること。
5	日本語の表現②	尊敬語とは何か、具体例を通して、正しい使い方について学ぶ。	事前に配布したプリントを完成させること。
6	日本語の表現③	・謙譲語とは何か、具体例を通して、正しい使い方について学ぶ。 ・尊敬語と謙譲語の違いを再確認	事前に配布したプリントを完成させること。
7	日本生活への適応①	交通ルールについて学ぶ。歩行者、二輪車、自動車、それぞれの立場から学ぶ。	日本の交通ルールについて調べる。
8	日本生活への適応②	・ごみの分別の種類と再利用のメリット ・ディスカッションを通して実際分別を行う。	・ごみの分別の種類 ・再利用とは何かについて調べる。
9	日本生活への適応③	大学生、社会人にとってのマナーについて説明する。	マナーの意味、日本人のマナーはどんなことがあるかについて調べる。
10	日本の「常識」	日本「常識」を説明し、母国と日本の共通点や違う点について発表する。	・「常識」とは何かについて調べる。 ・母国の「常識」についてまとめる。
11	日本の祝祭日	日本の祝日とその由来について学ぶ。	日本の祝日について調べる。
12	日本の祭り	日本の祭りとその由来について学ぶ。	日本の祭りについて調べる。
13	日本の食文化①	・日本料理の特徴、精進料理、お節料理について学ぶ ・グループディスカッションを通して、母国と日本の違いについて発表する。	日本料理の種類について調べる。
14	日本の食文化②	・テーブルマナーの理論について学ぶ。 ・グループディスカッションを通して、テーブルマナーを実践する。	テーブルマナーについて調べる。
15	まとめ	学習したすべての内容の理解と再確認をする。	教科書やノート、配布資料の要点をまとめる。
16	定期試験		